

天皇杯・皇后杯 2025 年全日本卓球選手権大会 (ジュニアの部) 広島県予選【1・2次予選】

競技上の注意

審判長 大崎 剛

1. 適用ルールについて

- (1) 現行の日本卓球ルールを適用することを原則とする。
- (2) 公認のユニフォームを着用し、2024年度の日本卓球協会登録のゼッケンをつけること。
- (3) 使用球は「ニッタク3スタープレミアムクリーン」のみとする。
- (4) タイムアウト制を採用する。1 マッチにつき1回1分以内のタイムアウトを取ることができる。
- (5) アドバイザーのベンチ入りはベスト16決定戦以降より認める。アドバイスの時間は1分以内を厳守すること。

2. 進行について

【1次予選(トーナメント戦→リーグ戦)】

- (1) トーナメント戦でベスト16決定まで行う。進行はできるところまでベンチコール方式で行っていく。
ベンチコール方式とは事前に選手を集めて揃った対戦から試合を行うやり方である。
試合順は、男子1回戦→女子1回戦→男子2回戦→女子2回戦→男子3回戦→女子3回戦・・・と進行していく。
- (2) ベスト16決定後4人×4ブロックの1次予選リーグ戦を行い、上位2名が2次予選リーグ戦に進出できる。
- (3) 1次予選リーグ戦の試合順は同じ所属の対戦があればそれを優先する。

【2次予選(リーグ戦)】

- (1) 1次予選を通過した男女各8名によるリーグ戦で上位3名を決定する。
- (2) 1次予選リーグ戦の試合結果(男女各4試合分)を採用する。
- (3) 試合順は同じ所属の対戦があればできるだけそれを優先する。

3. 審判について

【1次予選(トーナメント戦→リーグ戦)】

- (1) トーナメント戦の第1試合の審判は、女子ベスト32シードの32名で行う。
以後、敗者審判とする。
- (2) 1次予選リーグ戦は、選手1名につき所属から1名の審判員を依頼し、できるだけ他の所属の対戦の審判を行う。

【2次予選(リーグ戦)】

参加選手1名につき所属から1名の帯同審判員を依頼し、できるだけ他の所属の対戦の審判を行う。

※新型コロナウイルスの感染者が増加傾向になっております。感染防止対策として、以下のことについてご協力をお願いします。

- 自分が試合をしている時以外はできるだけマスクを着用してください。また、試合中にマスクの着用を希望する場合は着用を認めます。
- 体調不良を感じた場合は無理をせず、大会運営本部に報告し、速やかに帰宅してください。
- 試合前後の握手、ハイタッチ等、直接他の人に触れる行為はできるだけしないでください。
- 試合前のラケット交換は、お互い相手のラケットには触れず、自分のラケットを相手によく見せてください。
- ゲーム間等のアドバイスは、距離を取る、向き合わない、大きな声を出さないなどの配慮をお願いします。